東海ノア
（東海 NOAH）

東海ノア通信

[原子力事業所安全協力協定]

第８号（平成１４年５月発行）
東 海 ノ ア 協 定 事 務 局
(日本原子力研究所・東海研究所内)
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@popsvr.tokai.jaeri.go.jp
ホームページアドレス
http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/

東海ノア通信 第 8 号 をお届けします。

東海ノアの活動の活動も新年度を迎え「平成 14 年度年間活動基本計画」に基づく活動を展開中です。東海ノアの日頃の活動等について紹介するとともに、協定の一つの目的でもある情報交換等に活用したいと考えております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適時、ホームページでも紹介しております。アドレスは、http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/ です。

トピックス

☆活動状況

- 第 6 回安全協力委員会の開催
- 第 16 回活動推進幹事会の開催
- 自主保安に関する点検協力活動
- 安全教育に関する協力活動
- 情報交換に関する協力活動
- 緊急時に対応するための活動

☆加盟事業所からの紹介

☆今後の活動予定

東海 NOAH：東海村（東海）、那珂町（N）、大洗町（O）、旭村（A）、ひたちなか市（H）

活　動　状　況

○第 6 回安全協力委員会の開催（平成 14 年 3 月 20 日）

主な議題（1）平成 13 年度活動状況について

（2）平成 14 年度年間活動基本計画について

○第 16 活動推進幹事会の開催（平成 14 年 5 月 16 日）

主な議題（1）通報招集訓練の実施計画について

（2）平成 14 年度自主保安に係わる協力活動について

（3）支援研修センターWG(仮称)の設置について

（4）東海ノア通信第 8 号の発行について

（5）協力活動本部員について

○自主保安に関する点検協力活動

協定に加盟している事業所を対象に原子炉主任技術者、放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者、衛生管理者、防火管理者等の実務経験のある専門家を派遣し、対象となった事業所の安全管理について様々な観点から確認、意見交換を通じてその事業所の安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

今年度第１回目の活動は、8 月に三菱マテリアル株式会社 那珂研究センターを対象に行う予定です。次号にてその様子をご紹介いたします。

○安全教育に関する協力活動

・加盟事業所で企画する講演会・公開講座等への参画

① 「常陽」メンテナンス建家火災発生に対する原因究明及び再発防止策

(平成 14 年 4 月 9 日、サイクル機構東海主催)

② 「欧州における原子力推進と環境主義者」

(平成 14 年 4 月１７日、

日本原子力学会北関東支部/三菱原燃共催)

③ 「エネルギーと地球環境」

(平成 14 年５月９日、原電東海主催)

サイクル機構東海での説明会の様子 →

三菱原燃での講演会の様子

○情報交換に関する協力活動

・事故･トラブル情報の交換

① 作業員の急病
（平成 14 年 3 月 27 日プレス発表、サイクル機構東海）

② JMTR 原子炉施設の自動停止について
（平成 14 年 3 月 31 日プレス発表、原研大洗）

③東海第二発電所の自動停止について
（平成 14 年 3 月 31 日プレス発表、原電東海）

④東海第二発電所の手動停止について
（平成 14 年 4 月　3 日プレス発表、原電東海）

⑤東海第二発電所の手動停止の原因と対策について
（平成 14 年 4 月 23 日プレス発表、原電東海）

⑥JMTR 原子炉施設の自動停止について
（平成 14 年 5 月 14 日プレス発表、原研大洗）

緊急時に対応するための活動

東海ノア協定に基づく活動のひとつとして、緊急事態を想定した訓練があります。

通報連絡系統の機能確認や「緊急事態協力活動本部」の円滑な運営及び協力活動本部員の技量の維持、向上を図るため、総合訓練、通報訓練、招集訓練などを実施しております。

5 月下旬に通報・招集訓練を予定しております。

次号にてその様子を紹介いたします。

加盟事業所からの紹介

～当社のヒューマンエラー防止への取組みについて～

原子燃料工業株式会社　東海事業所

当社は、昭和４７年に古河電気工業株式会社及び住友電気工業株式会社の共同出資により設立され、現在、東海事業所と熊取事業所の２事業所を中心に事業を展開しています。東海事業所は昭和５５年に事業を開始し、二酸化ウラン粉末を原料として、ＢＷＲ型軽水炉燃料など各種原子燃料の加工を行うほか、燃料集合体用部品、燃料関連装置の設計、製造、燃料関連技術サービスなどを行っています。

東海事業所では事業開始以来「働きやすい安全な作業環境を維持し、絶対に事故を起こさない完璧な製品を納入する」をモットーに安全活動に取り組んでいます。事業所長のもとに、法律に基づく安全管理組織、各分野の担当者により構成される安全組織等があります。さらに安全は「全員参加」で活動することで実効性のあるものにできるとして、上記の組織に加え自主的安全活動の場として安全衛生推進部会を設け、全従業員に展開しています。

各職場の代表者から構成される安全衛生推進部会では、年度ごとに活動計画を定め安全衛生活動を展開しています。その活動の一つにヒヤリハット・ヒューマンエラーを活かしたＫＹＴ(危険予知ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ)活動があります。こ

の活動を通じて得られた再発防止策又は予防策等を実践して安全確保を図るとともに、データベース化し所内で共有化、有効活用する事で安全確保を図っています。以下に「ヒューマンエラーのデータベース化とその活用」をご紹介します。

●目的

過去のトラブル事例やヒヤリハット・ヒューマンエラーの要因の分析結果及び再発防止策等をデータベース化し、これを社内で共有化、有効活用することにより安全確保を図る。

●実施方法

(1) 従業員に予め配布している「ﾋﾔﾘﾊｯﾄ(ﾋｭｰﾏﾝｴﾗｰ)ﾒﾓ」を利用し、ケガには至らなかったがヒヤリとしたりハットした事象を抽出する。

(2) これらの原因となった不安全行動や心理的背後要因(記憶違い、気づかなかった、イライラしていた等々)を抽出し、その背後に潜む要因をＫＹＴ手法を用いて解析する。

(3) 上記の解析をもとに再発防止対策を図る。

(4) 以上の活動内容を安全衛生推進部会でデータベース化して、社内で共有化する。

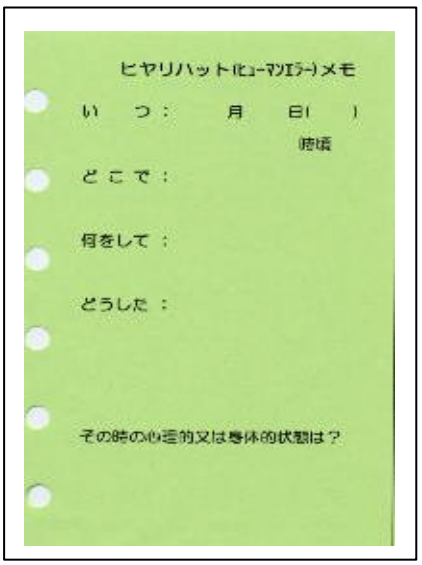
(5) 再発防止対策のうち、作業上の注意事項又は急所になるものは作業標準に盛り込み、作業標準の読み合わせや指導、教育して周知徹底する。

●共有化の方法

(1) 社内ホームページに掲載し、誰もが参照できるようにする。

(2) 月に１度開催される安全衛生推進部会において、最新の事例を紹介し、水平展開を図る。

(3) ＫＹＴ所内講習会で、各職場の安全リーダーに事例を紹介して自部門作業に反映させる。



ヒヤリハット(ﾋｭｰﾏﾝｴﾗｰ)メモ

KYT 所内講習会風景

今後も、上記の活動を推進することにより各職場における安全意識の維持向上を図り、更なる安全確保に努めていきたいと考えております。

◎ 今後の活動予定

・通報・招集訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 月

・支援研修センターWG(仮称)の開催・・・・・・・・・・6 月

・活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 月

・自主保安点検に係わる協力活動・・・・・・・・・・・ 8 月

☆ 編集後記

東海ノア通信も第 8 号を発行する運びとなりました。

東海ノア通信の目的である「情報の交換、共有化」という観点から、有益な情報をお待ちしております。

東海ノアに関するご要望、ご質問等についても事務局までお寄せ下さい。

(東海ノア協定事務局)